

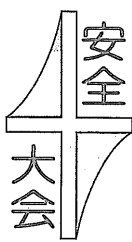
# 震災支援今後の活動に

## 宮川興業

宮川興業(株) (宮川眞社長) と宮川広陽会 (米田昌彦会長) は17日、広島市中区のANAクラウンプラザホテル広島で平成23年度安全大会を開いた。約180人参加のもとで、『リスクアセスメントの確実な実施と確認』『三大災害防止対策の徹底』『安全施工サイクル運動の充実』を大会宣言した。

大会は2部構成。第一部では宮川広陽会定期総会が開かれ、安全パトロールの実施や法定外補償保険の契約などを盛り込んだ23年度の事業実施計画などを決定した。

続く第2部の労働災害防止大会では、冒頭、



宮川眞社長は挨拶に立った。米田会長が「大会を契機に本人はもとより企業防衛のためにも、労働災害のない職場づくりに邁進してほしい」と要請。宮川社長は挨拶で、約2カ月間にわたって延べ363人を派遣した東日

本大震災の被災地における災害支援活動についてふれ、「当初は震災直後の劣悪な環境での作業に、社員を送り出すことには大きな不安があったが、全員が無事に帰還してくれたことに安堵するとともに、全員が適確に使命を果たしてくれたことを誇りに思う。震災全体の復旧・復興から見ると、当社が

行った活動はわずかなものだが、支援活動に従事するという貴重な経験ができ、本当に良かったと思っている。そして、今回の経験を今後の安全活動等に生かしていきたいと考えている」と述べた。



あいさつする宮川社長

このあと、海徳貢広島市議会議員、石橋良三広島県議会議員、平口洋前衆議院議員がそれぞれ来賓挨拶。安全講演や健康講話のほかに、宮川昇一常務取締役による東日本大震災の災害支援活動についての報告も行われた。また、安全優良協力会社表彰では、合計9社 (株)片山工務店、(株)中国警備保障、栄伸電設(株)、(株)藤田工業、エム・エス建設(株)、船越建設(株)、高田舗道(株)、多田野工業(株)、(株)タガワ) に対して、宮川社長より表彰状と記念品が手渡され、参加者全員で「全社」ゼロ災害1000日の達成を誓った。